

# Campus<sup>®</sup>

KOKUYO NOTEBOOK

Kokuyo Co. Ltd. manufactures the campus notebooks by using carefully selected writing paper,  
which is suitable for writing with a pen as well as with a pencil



## 観測所日誌(4)

1986.12.4 ~ 1988.6.23

1986. 12/5 快晴から雪 [redacted] -1°C

東京に 12/4 pm 11:30 発車し 五日 am 3:00 頃到着  
田中さんと一緒にやってきました。いれまにやってきました。日初3年  
ぶり。観劇所かてきてから月初めに百り。やると念願が  
かなった。素晴らしい星空で感激。観劇所も立派で。(一部  
除いて) 下まごき草採でした。手紙をわけて72枚ほどでした。  
パブリコにて宿りて行きました。スカイセンサーは赤線方向が具合が  
悪いようでした。(赤線はOK)  
それにしては再3連甲の超か、たこと。田中さんは3人で  
スヤスヤ。

1986. 12 4~5 天快晴→雨 気温 0°C ~ -10°C  
田中 [redacted]

週のド真中、木曜日の夜はかからここに113のほしをた  
たき仕事が終わって 11時に古畑君の所へTELした。こ  
れからいれまに行きましようか? とのこと。  
天気も快復してきたので、ガゼン、私もその気になって  
真夜中近く、11時半に高井戸から首都高速に  
乗っていった。

※ 着いてからもド快晴!!

古畑君とコンピョーナーによる星の導入チェックを  
行ったが、どうにも赤線がうまく向いてくれない!!

※ また、いれまの機械の調整の分、向とぬって  
とんと、今年まだ未検出のβ<sub>1</sub>の検出  
写真3丁を撮った。

※ 金星が明るくて、かぶるので、はたはいいか、心面をたほど  
た。それにしては朝5~6時頃の朝焼けはすば  
らしいから。

1986. 12. 5~6 天気快晴 気温0.5°C

12/5 朝、      君と帰京1作のは6時40分、東京  
着は10時半頃(秋葉原)。ラニニ時に17は111  
コースだ、作。

天気予報ではまた晴れを予想しているし、この週末は  
どうもくずれそうには見えぬので、昨夜からわずか  
2時向か寝てないが、またやってくることにした。

(うちの神(か)さんが入院、手術のため2月向仕事を  
休んでいるのです)。

夜9時に観測所着、それから工事用ライトをこ  
うと照らしてルーフのローラー部分にグリース塗り。  
そして滑車をつけてロープで引き張ると、ゴロゴロと  
ルーフはたたくてあった。このグリースをかけたおかげで、  
なんとなんと一人ででも開閉できるようにな  
り、してしま、たのであった。(=夜からは滑車、ロープは  
不用)

さて、さて、空の方ほどいうと、11時までとも快晴で  
あって、安心して撮影に取り組めた。

ところが、昨夜からの無理がたたったのが、また  
く不覚なことをしてはったのである。

サーベイ用の写真機を撮り続けながら、1時  
すぎ"ガスは露出<sup>に</sup>~~は~~向は<sup>に</sup>こたに入、て、下調  
べや次の準備をしていたのだが、~~どう~~<sup>どう</sup>ち、ちよつと  
横になったのである。(また、露出終了まで5分ある  
ハッと気がついたのはなんと、4時すぎ)。

3時向の長超露出をセ、て(またのである、  
仕方なくサーベイの撮影は中止して、昨夜  
と同じフィルムと、おのイルド工を撮、て、11時  
ちに薄明が始まってしまった。

やはり、全自動撮影装置を大至急作りな  
くち。それを使えば、4時向た、ふり眠れる  
予定なのだ"から"...

1986. 12. 20~21. 晴小.  $-4^{\circ}\text{C}$ .

スカイセニサーの動作チェックのために政明氏とともに再び平所。天気は上々。しかし、空にはこうこうと揮くお月様が……。月によりの動作チェック日よりでした。

今日は水道橋で PM 9:30 頃出発。到着は 12 時半。かぶりのおいペ-ス(?) だけおいて、気分がいい。

さてスカイセニサーの方は、調査の結果、スカイセニサーの回転方向(計算上)と実際のモーターの回転方向が逆に回っている事が判明。(スカイセニサー→モーターに行く間の配線をチェックするのは正しいと思う)早速、高島氏に連絡して修理したい。赤経方向は前回回った様に OK。かぶり頑度良さそう。

今日は、お月様は年明け早々に平たいものだ。

1986. 12. 20~21. 天快晴→曇り. 気温  $-4.0^{\circ}\text{C}$

田中

満月過ぎの「お月様」こうこうと芝罘く中をやってきた。今回の目的は前述の「お月様」の文に「お月様」のように「お月様」-1- 制御のチェックと TS 16cm 赤道儀の搬入だ。

さて、350型赤道儀の場合、ギアの歯数付の「お月様」で、空回りするところがあるようだ。ギアが回っていても「お月様」が回っていない時は、このギアの歯数付のギアを「お月様」(お月様)に替えてはほしい。

TS 16cm 赤道儀は搬入「お月様」が、ギアが足りないので、お月様を「お月様」に替えてほしい。次回は夕方、来週の土曜日には来れると思うので、その時はちゃんと組み上げる予定です。

1986 12 30~31

快晴  $\xrightarrow{\text{セリカインが来た}}$  曇り  $\xrightarrow{\text{朝は冷え}}$  快晴  
-4°C  $\xrightarrow{\hspace{2cm}}$  0°C

本年最後のいわきである。今回は友人とセリカインカムターボで R289 が雪の為子エーンを付けて いっもな5最高タイム21分の所を1h45m かけてやって来た。しかし...

結局、天気が悪く オーディオルーム いわきと化してしまった。ダンシングヒーローを何回聞いたことであるうか？

来年は、と言ってもあせつたが、1月2~4日に来る予定である。

いわきの皆さんよいお年を！

1987年です。

1987年 1月 1日~2日~3~4日 (1月1日~4日)  $\rightarrow$  はい時々アソ  $\rightarrow$  はい時々アソ  
-7.5°C

皆エ。新年 あけまして おめでとうございませう。  
2日から来る予定で、1日お休み。天気の方が、起むべく取ったため、急に1日に来りました。しかし風が強く、直直点のみは、フルか心配です。2日の2:40 AM頃からくもりだし、3:00 AM、空、粉、雪雲に、おまわれしています。とにかく、14コマ撮りましたけれど、明日には雪も降るらしいので、早々に帰る事にしたいと、思っています。今年も、どうぞ、よろしくお願ひします。と思っていたら、  
と、氏と TEL で、話していたら、今日は天気が良くなるというので、おに果所するとの事だから、そちらにのこるといふ事になった。2日お休みで、4日までいる事になる。この現況、終つたら、あまの、下りて、戻れしでも食ふ。しかし今日は、こども、雪が降るとの事でおねで、少々、心配です。と、朝になると、あたりは一面の、銀世界であつた。But、天気は、良、雪はとけ、たしました。今日(1月2日)は、またまた、ドライブインあまの、  
昼食と、と、地主エの所に行き、新年の、あけまして、おめでとう。やはり、明日、帰る事にしよう。と、お、世田谷に、と、着いて、荷物を、おろせば、あとは、夜おと、実家に、車を、と、し、行って、今年、初観測は、終る予定で、す。

1987年 1月 2, 3, 4日 (2泊3日)

(初) (初) (初)

まずは 明けましておめでとございます。観測所の皆さま今年で  
よろしくお願ひします。

この年末年始は3連休なことで、<sup>月の</sup>条件がいいので、<sup>月の</sup>さんと3回に分けて  
来所する予定だったが、1回目は天気がよくないので、南千住で <sup>月の</sup>さんをおえた  
3人で忘年会。2回目は、家から宅急便で食料を送ってくるとの連絡があり、その  
受取りで私のみオジャン。3回は3度目の正直でやってきたので、天気がよ  
くなるさうなので、本当ならば来なかったかも知れないけど、なにせまわりの人に  
3回も屋<sup>内</sup>に行くといふので、1回は何かなんでも来なければ"という  
意地と、地主さんへの新年のこあいでつ( <sup>月の</sup>さん <sup>月の</sup>さんと私の3人で  
計画している新観測所の為の土地借用の交渉も含め。この件に関しては  
地主さんより承諾が得られ、コーサインが出たので、夏頃までには観測所  
を完成させるべくカンパりたいと思っています。)があったので、やってきたので、  
初日の1月2日は、来る途中から雪が降り出し、私は観測所に着くなり思わず  
( <sup>月の</sup>さん <sup>月の</sup>さんに ) "只今 新年会に参上しました。"と云ってしまい、笑われ  
てしまったのであった。この夜は、結局、新年会を農作業小屋で行ない、  
その後、会場を準備室に移して、デスコ大会をいたしました。  
(もうデスコをするのに、六本木へ行くのは、ナワくない、いゆきて、デスコ  
をするのが、ナワいのだと、カンチガイしている人が、約3人程いるようです。  
メンバーの一部には、新観測所が出来れば、ステオも移設される  
の情報をきいて、観測所に、静けさが戻るとホッとしている人が(いるらしい))

1月3日

田中が持ってきた本棚や天文雑誌を2尺にあけ、号数に収めました。  
利用された方は、元のところに入れて下さる様お願ひします。  
この日の夜は、ド快晴でしたが、私は、写真撮影もせず、星をのみ  
は、コタツに入り、ちよっとぬたり、おきては、食入たりを繰り返すの  
でした。冬の夜ってのは、実に長いものだとつくづく感じたのであり  
ました。

以上

1987 1月 2~4日

雪 → 快晴

0℃ → -3℃

観測所の皆さん、新年明けましておめでとござ  
います。本年、一回目のいわきです。さて、ここで  
問題です。私は今年、何回来所するでしょうか？  
たぶん、昨年以上になると思いますが、---

1986年12月27日 - 1987年1月5日

君のあけましておめでとうのおにに昨年の事を書いておこうしゆく  
ですか。今回も長期たいさいの日記金永を作る為にかて来ました。  
12月29日午後6時雪の積った観測所につきました。209号線モーター  
チェーンでよって来ましたか。パワマ台の長い坂につままりおむなくバック  
で坂を下りてチェーンをつけました。観測所の入り口まで来るとワダチの  
おとのついていない雪車がくぐり込むといけなないのでおりに歩いて  
みたら106号の30の深さなのでそのまま車を乗り入れる。三鷹をAM11時出発  
して17時間におたる長い旅をさおったつた。

着いてすぐスラッパイングループをあける二んたつたけれど、クリスマスは  
ったおかけかスルースに開いた、さっそく望遠鏡のスイッチをM18.  
しかし何と、350持の回転音がしないのである。キック！オレは  
ジョセキをさし込みスリッパをいれたらけつたのは。前科のあつた私には  
はちよときつかった。ライトでてしても歯車が回っていない、ベツカ  
をながさよくよく覗いてみるとコンピュータのギアスイッチがはいつてい  
たのである。スイッチをマニュアルの方向に押し、あのなつかしい音が  
聞こえてきたではないか。ホット脚をなてあすす。

直に出してあつた三鷹のM10を組んでみる。極望でつて極星を入  
れようとしたか北極星が見えな。目では見えてはいるのにライトで極望を  
てしてみたら、いさひスツクモゴをわけていてフムがわいて屋根のハリを  
ライトでてしてながさ極望をのぞいて見た。何とライトの明りが見えただけはない  
か極望が下をわいてはいたのである。けつたよ恒星時運車が早  
まて使ひ物になつた。25cmライトユニットを使う事にした。  
撮映していると、さんか、TELかあり、レルス的位置  
を教えよもつてさつと字してみよ。まあまあセルムで字つた  
と突つたかセルムは出てはなかつた。エルダ又又座の外屋雲を  
おろす。

今回は車があつたので温泉に3回も行つた。おしまたれ  
2日おと一回はもつと近くの魚川にあり西島弥生官7  
行つた。おじまたれよりせつたよ、よこせつたよ、よこせつたよ。  
20分おと一回はもつと。おじまたれよりせつたよ、よこせつたよ、よこせつたよ。  
昨年思つた外屋雲をこつたよ、よこせつたよ、よこせつたよ。

最終日の4日M31.442を30分露出した。天頂おと一回はもつと。  
とまあまあのかいにかつた。4日月おと一回はもつと。

少しカブツてしまった。2月には2回ぐり来たかと思ひ  
ます。

いちばん最後になつたか。今年もよろしくおねが  
ひします。

1987.1.2-5

田中

3油4目おと一回はもつと。おじまたれよりせつたよ、よこせつたよ、よこせつたよ。  
帰つたよせつたよ、よこせつたよ、よこせつたよ。今これを書いてい  
ます。

コンピュータ制御の良さがほぼつきました。

また25cmライトユニット、吸引ポンプ

ほどを取り付けたことにより全自動化に一段進み  
ました。

いよいよ2連システムへの第1歩です。

さんか「全自動おまかせガイド」による30分  
露光の写真ではおと一回はもつと。おじまたれよりせつたよ、よこせつたよ、よこせつたよ。  
ようです。

今年もよろしく。

1987. 1. 10~11

私達がここにいた頃(史国, つまり 正A前後)  
新彗星が発見されていきました。

1A5Aに「ビイガ」へびつかい座に10等の新彗星  
が発見されたのです。

1A4Bに私が双眼鏡で「カササ座」からうみの  
び座を流していた頃、新彗星はへびつかい座の  
星のそば近くで「たけ」が発見を待っていたのだと  
<sup>あのA</sup>双眼鏡を東の空に向けていけば「……と今に  
たって悔んでも仕方がありませんか……」

さて、今回はその「ビイガ」彗星が、どなたの筆名で  
写そうと「      氏」と彼の「      君」と3人に  
吹雪の中を歩いてきました。着いた時は吹雪。  
それでも明け方には雪雲も消え始めたのでした  
が、2~3分の露出しかできなくて多分「ビイガ」新  
彗星は写っていないでしょう。

次回は今月末、月がたかた、た頃まで行くこと  
にしようかと「双眼鏡」の「サーベイ」も「        
やりたくて考えています

よく朝日快晴。

1987年1月10~11日 曇り晴れ曇り

田中さんとまた来ていただいた。新彗星  
と「エリダ」座の「スーパー」も写すため  
東京では晴れていながら「暮か」インターを  
かりましたから「雪かき」はいいので5Cほどの  
積雪。4時23分少し(ばれ)て写して  
みたか(彗星を)「たけ」写すていいと思う。  
これで今年は9夜目である。今年は20夜  
以上が「      」つくり。田中さんまた「        
さるって下さいね。

1987. 1. 24~25 晴れ 05曇り 15晴れ

観測所に着くまでは「      」(289)に「      」  
しているうちにまたまた「      」……「      」  
次は「1, 31~2, 1」です。とにかく、今年も「      」  
とです。今は「      」「      」と、とにかく「      」  
私語小屋か、出来るのが「      」です。  
何にしても、今日は「      」です。帰りは「      」の「      」  
帰れるので「      」です。これは又?

1月 24~25日

曇り?晴り?晴

今回はレナカーを借りて来た。

来り時は [ ] の運転で来たか 帰りは少しは? 運転

いきなり 同乗者の方 二わからないで 下さる。

三子正川を 3時半頃出陣。南半位経由で

8時40分頃 到着。着いた頃は晴れているか

は曇りか? (しかし1時過ぎからは曇り)

とさかかすに 3時頃は快晴に変わ

る。この増感度のテストを行なうか (カラーバーナル)

現像の結果が心配だ。

12mmと8mmの双眼鏡の比較をいながら 倍率、口径が

違うから何ともし難い感じが 似た様なコントラストで

ある。もうそのコントラストを 望みたり

1987 1 24~25

今日もいつものポイントと同じで 望遠鏡を

セッティングしただけで 終了。その後は

1987/1/24~25 (土日)

今日は読書に専念

1987. 1. 24~26

夜曇りの晴りの快晴

他のメンバーが眠ってしまっから (午前3時頃)

明け方まで快晴となった。目を起こしてさう

かと思っただが、あまりに寝顔が気持ちよさそうに

なので、ついついそのままにしておいた。

てんぐく座あたりには 赤い月があつたが、こゝ座あたり

を双眼鏡で流してみたが、ねかひかすばらしい

透明度で、入ってくる雲状天体は皆 彗星に見えてしまう。

こゝ座あたりでも初めてみる 星雲・星団は多いものだ。

さて、25日(日)夕方。昼間ばかり寝ていたので

体調は十分だ。N.T.T(1987C)を写そうと6時頃

から待機していたが、6時半すぎから、雪がふらふら舞り

出し、7時前にはついに大吹雪となつてしまった。

寒れていた冬型が強まったためらしい。ついに女さぐり

早く帰ることにした。早くはないと、雪道でスリップして

しまう。まきまきうちに地面に自くたつてゆく。キー

をつけるのがめんどうだ。だから急げ急げ。--

甘んじか! ノー2のタイヤで、ふもとまで降りたが、矢張り

(火) (水)  
1987. 1. 27-28

晴時々曇り 気温  $-3.0^{\circ}\text{C}$   
田中

またまた新彗星が見えた。またも西の夕空だ。

新彗星 幸迫 (1987d) 彗星

$\frac{1}{24} 39583$   $\left\{ \begin{array}{l} 23^{\circ} 16.3'' \\ \delta -30^{\circ} 32' \end{array} \right.$  8等 幸迫

$\frac{1}{26} 37847$   $\left\{ \begin{array}{l} 23^{\circ} 31.2'' \\ -29^{\circ} 23' \end{array} \right.$  8等 三浦

これで夕空に8-9等の彗星が3ヶ所(幸迫, 西川, 高見沢・多田, 1/2(1,2) 勢を占めている。これも23等~24等あたりにも集中している。

口々か、この彗星のものを写そうと、毎日口々写して来た。

雪はまたくたくた快速な走行だ。

ところが、夜中の12時すぎに霽りてから11時サーベイでもおろすと1時。薄い雪雲のため透明度がまったくダメ。双眼鏡で見ても星がにじんではない。

さらに雪の切り向を待つ間横にならな。ついでトボトと2時向きの仮眠。

やはり仕事をしからせ、てくると疲れがひどい。

(水) (木)  
1987. 1. 28-29

天候快晴 気温  $-1.0^{\circ}\text{C}$

夕方から絶好の観測日よりとなった。

西空の3つの彗星も圓期彗星の千エツクをどくどく写してゆく。

21時すぎより、サーベイ用撮影を始める。

残念ながら、今日は明け方までいれは11のて20コマだけ終わることにした。

サーベイの2ヶ所づつ一ルが終了して、午前2時半

は付けして、ニニエ出るのは3時。東京着は

6時半~7時頃。これから、サーベイ本日の仕事だ。さあ、今日も元気でいってみよう。

田中

1987

1/31 ~ 2/1

快晴時コ雪? 気温-8C

やがて暗くなりという感じでひさし(?)に  
早く帰ってきた。しかし追尾がいま一歩  
良くなかった。寺迫 善尾を見ればた  
かは残念だ。

1987年1月31日 ~ 2月1日

とにか来た。2日何とか朝まで晴れました  
今日は、赤外線望遠鏡を中心にT-MAX等のテスト  
撮影もした。573211011!

1987.1.31 ~ 2.1

東京を出る時天候とも今夜のよう空星に逢うと思えば  
空模様がわる。2時以降に入ってくる。いつも田中さんの  
空望遠鏡のほうで早く出る。ひさし(?)のよう空星  
今日は1/22 教えたのと同じノズルが外で2~3枚  
写した。それと固定撮映を2~3枚。出射光の方向は?  
西に沈む。T-MAXとフレアレス

ミホ以上は新望遠鏡の星望に逢うに満足した。

0131/87 - 0201/87

田中さんの車に乗せていながら、4度目のひさし。東京を  
来一時は、アラスカ突然降りたので内心絶望的(た)で  
289)で雪も降った時の素晴らしい星望にはホントに感嘆で  
冬の大雪やナリオが迎ってくるので、大いに振りに気が  
かすかった。1月17日  
観測所で田中さんの熱心に指導を受けて、初めにひさし  
ホケルと星望観望。ひさし(?)の星望に教えてくれた  
初めてその写真も撮り取った。全て借り物で(た)が3枚の  
写真、出来栄が楽(た)です。

87.1.31 ~ 2.1

先週の天候を取りに来た。せっかく撮影したのに  
1週間も撮れなかった。新望遠鏡や新望遠鏡が写ら  
ないらどうしよう! ちゃんとこはちゃんと  
今日もスルムとスルム-カメラテスト撮影です  
他の方がお持ちの写真を撮るにいらして、いろいろと  
お話を聞いて、直ぐに帰るには、はなはだ大変です

1987年1月31日 ~ 2月1日 快晴

東京はあついで、水戸までは留。国道118号741  
って晴れさくさ 田中(?)の5人同乗  
で、来花今年3回目。12かぶさんおとめをサ  
へいた何か出てきた。2日朝間の待5時間  
で20コマ写した。寺迫、西川、望遠鏡が写ると  
いいから、田中さん、観望も色々おとめ(?)さん

かみんしつかんた. としつかんた.

1987. 1.31 ~ 2.1 ~ 2.2 天気 快晴 → 吹雪

田中 [redacted]

快晴

気温 - 4.5°C  
- 6.0°C

東京を出る時は女中が舞い、ひどい天候だ。だが  
ここから行くは快晴。同行の久保田さん、瀬戸  
さん、一応満足して帰る。おれも満足。

さて日曜の夜までいることになる。米沢さんと  
小笠原さん、3人(井上、N.T.T.、山田)を  
望み、撮影した。そのうち直葉は支那(水曜日の)  
とたいてい様子が変わり、尻尾はものがはかり  
見えた。写真の結果が楽々だった。

[redacted] 2人で3時間ほどの時間の配分を  
作った。そのうち内は2人で12分、4人で12分、楽々  
といはれたい。

さてさて、次回はまた週末までかかっているかな?

(2/1 20:00)

'87. 2. 7 ~ 8

曇 → 快晴

3週間続けて観測所に来た。全曜日の地震の後、[redacted] 電線に突然  
来た。そのとき。

東京とある時は雪の量は頭にくく、あつてもう、ついで  
植、この程度を3つと思つて、この雪がささ  
すはハXになる。!

今日はいつもとパターンが違い、雪がささして汗をかき  
身体があつた。その所でビールを飲む。これは“いぬま”で  
初めての体験だ。(このとき雪がささし、あつたは  
たつた(のし)だ)。その後、観測所に取りかかす。

~~観測~~ 明まで2時間程の間、あつたをいぬま、いぬま  
くすべ、充実した様子をたたく。

時には雪を思いがけず、いぬま、いぬま、満足した!!

1987

2/7 ~ 8

うち曇り → 快晴 気温 -1°C

8月 0h30mに到着。そして約一時間の雪がまをた  
後のビールは真夏に飲むのと同じうまさがあった。

写真の方は2時間弱しか撮せなかった。

それにしてもさすがに4WD。この雪の中を  
1-4エーンで来てしまった。2WDでは絶対に  
不可能である。

1987 2/28-3/1 [redacted] 気温-8°C

晴れ→時々雪り→快晴 → 3/1 AM11に雪  
PM 9h 30mに到着したものの観測所まで車で  
無理に入るうとして、スタック。約45分の雪かきをする  
その後、今回持って来たJP用ローを三脚と交換。  
AM 1hより、午後まで約4時間 星雲星団を早  
来狙未と未所予定である。

1987年 2月28日~3月1日 [redacted] 同上

今回は、MT-200とF48で撮影と行なった。  
2/28の朝、カメラを12コマ(対象の撮影が  
できなかった。今後は、目も両手に2コマは5コマとしよう。MT-200で  
マニマニする。来週はスキー。先週は、スキーと11のこと  
とE12のカメラを買った。今日は。

1987、2.28~3.1 田中 [redacted]  
今、午後2時半です。外は吹雪です。  
日本海を東進中の低気圧によるもので「ふうか」  
~~ま、吹雪~~吹雪だと、まったく音が消えて(まう)の  
すね。鳥の虫の音もまったくなく、静の世界です。

さて、いよいよ、ライトノットツイン計画のため、  
マニマニの製作にかかります。そのため  
ニコ1かAほど、350赤道儀は調整中とさせて  
もります。

3/1 14:30 記

1987 3/21 (土) 新井 [redacted] 気温+4°C

夕方5h20m到着。久しぶりの計画である。  
空はへた曇り。星は0(セ12)全く見えません。  
風は冷たく、足はしもやけに(4)そう。ニコン20x  
双眼鏡で松の木を見た。道路は雪がなく  
楽にこられたが、残念である。

1987 4/3~5 [redacted]  
天気 3日晚キリ時々快晴  
4日晚 晴れ時々春かすこ

今回は結局他にだれも来ず、一人だけで  
あった。自分だけというのも気楽でいいもの  
である。光度6.6と予報のでている  
M-T-T 彗星をMT 200でさがしたが  
ついに見つからず、なぜだ---?

~~///~~ 月天 5月5日によると  
4/5 d 22h 55m  $\delta -10^{\circ}44'$

田中

1987. 4. 11~12 天ヶ巻 満月夜

結局 3月は来れず 1ヶ月ぶりの来所

今回の目的は 25cm ライトのツイエ化のため 11日

より 20°C 以下を 組み上げることであった。

作業人員が 2名 (田中) で 毎度 重い ライト

の取付作業を 近々 3時間以上かけて行ったので

あった。

それにしても 来れなかった ---  
18時 20分

これから 帰京

1987 4 28~29  
天気: うす曇り

いわきは シーズン オフ に入りました。

今週末の連休は 浄土平へ 行く予定である。  
(いわき経由)

上記 同日

11月 20日 同日

上又は 上々 同日

3ヶ月ぶりの いわき。のんびり (くもって) 出来たのでよかった。

1987. 5. 2~3 あめ、くもり

5月3日に 浄土平へ 行くために ニニに 来ました。磯林 E. 満月の  
に。 (また、浄土平は 晴れているのか、帰りに また ニニに 来  
予定である。

1987 5 2~3

いわきは シーズン オフ になったので 浄土平へ 行き  
ます。 JP 2台、E160、E200 を 車に のせた所  
車は ショコタン になってしまった。

5日の日に 帰所(?) 予定である。

現在 天気は 曇り 風強し。 3日 12:00 出発しまし

1987/ 5/ 3-4

22時着。 「晴」 風強し

いわきは まだ シーズン オフ ではないようです。

25時過ぎから ド快晴。 但し、相変わらず 風強し。 +3.5°C (AM4)

1987 5 4~5

上記の通り、浄土平へ 行ったが 3日の 晩は 雪が 吹き  
つけ、車が ぬれる 程の 強風 だった。(気温 -5°C)

4日の 昼 になっても 同じ 状態 だったので、いわきに 電話  
した所、晴れている というので、PM 6:30 にも どの 来た。

しかし、ここも ドン曇りで、一時、あられまじりの  
雨が 降った。 PM 11:00 ころから、いく 晴れたが、

雲が 流れてきて、2~3 コマしか 写せなかつた。

ついに 今回も N-T-T 群星 を 見る ことが できな  
かったのは 残念 である。

同止

トニは、あまり ない 天気 である。 ま、 昔の 2 撮った ので、  
ほんとも 言え ません。 AM、 何とかなる でしょう

1987. 5. 4-5

いんまは晴れというので来たが (PM 11:30頃)  
雲の出現で結局 数々の撮影。スズの尾空探訪ができた。  
そのうち、くりと腰を落さず見て来たものだ。

同上

川崎雲には 入りませんでした。

1987. 5. 16-17 (晴 くもり)

久しぶりの観測所だ。 田中

約1ヶ月来はいい。見どころも向もかも新鮮に見える。  
本日はマフアートの手直しのためと、ユスモアの  
種まきのためでの来所であった。

早く完成させて、今度の新月からは、ライトの  
調整に入りたいものである。

これから下船の新井君と待ち合わせのため、  
急いで帰る。

AM 9:45.

●

1987 6/5~7

天気 { 5日夜 うす雲り  
6日夜 うす雲り後 快晴

6月だと言うのに 昼間は天気が良く 夜に在るこ  
うす雲りになっていたが。 7日 AM 2:30に目を  
さますと、~~天~~ 頭上には天の川が横断して  
いた。写真は写せなかったが、双眼鏡で  
今シーズン初のM31, M27の観望をした。  
それにしても 田中さん、~~田中~~ さんのごちそうして  
くれた貝パーティは大変おいしかった。  
ごちそうさまでした。

1987. 6. 6-7

田中

天気は あまり期待できなかったが、25センチライト  
の調整のため、またまたやってきた。今回は  
アムのがいかにマウントを載せ、赤色フィルターも載せる  
という欲はいいもの。それでもまだライト  
には余裕がある?!

1987. 6. 21~22 (日~月) 天気 <曇り→雨→曇り

田中 [redacted] → 快晴  
気温 11°C

低気圧が通り過ぎて、もしかしたら晴れるかも？  
という期待がもってきました。

ところが、ここに書いてから ドシヤ降り (15時~20時)  
夕食を食べて 0.2 寝ていると 21時すぎから 雲が  
たかぬ始末。23時には快晴になった。

さっさと 25本のライトを使って 1本はサーベッ、もう1本は  
セント出しにといかけた。

それにしては 露の多いこと。10分露出すと CP は  
更ってしまう。

26時頃 下弦の月が登ってきた。今回はこれで  
終りにしよう。

ここから 帰京して 本日月曜日の仕事にまた  
精出すことにしよう。

さて、コンピュータ搭載では 恒星時運転はする  
のだが、マニュアルでの恒星時が回るのは、ハテハテ  
どうしてものか？

1987. 7. 11~12 (土) (日) 天気 雨→曇り 気温 ~~20~~<sup>21</sup>°C

本日はド満月。それでもわかってきたのは  
例によって赤道儀の調整のため。

[redacted] はマニュアルコントローラーの恒星時運転が  
正常になるように修理するためと、パソコン接続  
のキエックのため。

私は恒星時目盛環モーターのキエックのため  
である。

しかしながら、作業はなかなかほかと"はず"  
結局両方とも東京に持ち帰り、再キエックする  
ことになった。

それにしては 風の強い一日であった。

ド満月でも、ドシヤ降りの日でもここに来ると  
すごすのはまた格別の味が又た。

1987. 7. 11 ~ 12

■■■■ 強風

満月、そして雲が流山飛ぶ。目にや、て来た。こういう天気、月令の晴にくる理由、星を見に来た、というのでは無いのは明らか。

赤道儀の調整と10/10に接続のテストをするため。

それにしてもらていい風だ。

星見という目的以外でや、ててて、一晩

過ごすのも、また何々良いものである。

いい連休暮日だ？

1987. 7. 18<sup>日</sup>(金) - 19(日) 雲→雨→ト使晴→曇→雨

今回は土、日と連休にできたので、金曜日の夜に東京を出た。

金曜の真夜中、2時すぎに着いたが、空はバツ曇りで、まったくダメ。ビールを飲んで寝た。

土曜日は朝から、ジトジト雨降り。梅雨明けにははずぬのに(後で聞くと梅雨明け宣言が、取り消されたらしい)

夕方、今回も星見はダメだ、と、あきらめて夕飯を食べた。下に降りて行、た、とこ3か、途中から、~~とこ~~とことこ晴れてくるてはなにか？

温泉に入る予定も高級料理もあきらめてすぐ戻って観測室を開ける。しかし、何の準備もしてなかったため、手筒取り、まともな撮影できたのはほとんどなかった。さうした時すきには月が昇、てきてほい。真夏の夜の夢、はあ、という肉に寝てしまった。あ、た

1987. 7. 25~26~27 曇曇→晴→曇  
(土) (日) (月) 気温 20.5℃

今回の東京脱出は大変だった。田中

隅田川の花火大会のため道路は大渋滞。

環状回りで、加平から高尾に乗ったが、そこでま  
で行くのに2時間もかかるとは思ったのであった。

結局、今回は5時間もかかってしまった。

さて空の方はというと、土曜日の夜は1ヶ月  
曇、そして日曜の夜は晴れる気配を見せた  
ので、居残ることになった。時々晴れることは  
晴れるのだが、10分ともたない。結局、夜中  
の11時半までねはったが、女さぶ女で帰京  
することになった。

来週は年一度の総会!

天気が良くなるように祈ろう。

1987. 7. 31 (金) 夜中 雨

約1年ぶりで観測所へ来ました。来て見ると  
ます"驚いたのか"。「門」の所に立派な鍵と丈夫  
な鎖がついていたこと、近所の犬に吠えられ  
たので、さくさくと車を「門」に横付けして来ました  
が、他の車は大丈夫通れりなのだろうか?

空の方は全然ダメで、ウィスキーを飲みながらこれ  
を言っています。

観測所とは関係ありませんが、先日(7/20~7/25)  
長野県の高尾高原「霞クラフ」の生徒の合宿の引率で  
行って来ました。天気が余りよくなくて、(下界では前  
橋で39℃とかいってました)からかりました。でも  
去年はハツカ無のふもとまで行くと全然曇が見  
られなかったのに比べれば、今回は、合宿のせい  
で時間を見られたので、生徒達も満足していた  
ようです。

予定が合わず、今回の総会には参加してま  
せんがよろしくお願ひします。7月に行う8月の下旬  
あたりにもう一度、いわきに来れるかも知れませんが、ま  
いば"これまでに"。「門」の合鍵(  もしかすると  
去年の12月の総会で  エンが私に渡すと  
言っていた鍵は、それだ、なのですか?)をいれたら  
嬉しいのではありませんか?.....

1987. 8. 1 (I)~2 (II) 雨→晴 [redacted] 2:30pm

久しぶりで11kmにきました。  
マニュアルモードでの4セク出したのが、恒速時60の  
恒速時遅延と倍速かてできません。  
4セクの結果は

- ① 恒速時用発振器のパリアル同期器の出力がでている。
- ② 恒速時60の倍速時の発振出力(モードからの出力)  
が通常の1/2-1/3 くらいしかでている。

原因は未定かたが、ICの交換は必要かと思ふ。  
と仮定、ICの交換が必要かある。

ただ、配線方法が、おまじきでいいので一度修理することも  
必要かある。

とって、今日の総会にはいかに出席するのにか?

1987. 8. 1~2 [redacted]

半年ぶりの乗所です。1月から2月にかけて3週連続で  
乗所です。1はよくお休みのままに  
音機は5/4車の都合で乗所をのぞいて  
例に倣って早朝(5:30AM頃) [redacted] 1時から電話が  
寝入バナを起すまで(お休) もう一度お休む  
ついでにもう2時だ。2時半過ぎに [redacted] 月か乗所  
市村さんもお乗所予定車で6人で総会をやり終!

1987, 8, #2 [redacted]

争土平から二輪で... どちらもこっちも 穀又は雨。  
■ 7分れた!!

1987 9/26~27 天気 曇り

9月は12~13, 19~20, 22~23, 日として今日と連続して来所していたが、この日誌がなかった為、書くのは今日だけとなる。

前回 22~23日は一晩中快晴に恵まれ、新しく購入したニコン8cm ED (ローソク) の試写を行った。

今日はトリ雲りで、車の内のえうじを帰る。田中さんは夜中1h30mに来所して、今晚は観測してから夜中に帰るそうだが。

1987. 9. 26-27-28

感ハク曇り 気温13.5℃

田中

久しぶりの来所。

先週は沖縄軍環食のため、沖縄へ行く予定が、前日までの雨が雨のよりに晴れ、観測は大成功。また、天気は最後の最後まで雨かたないものだった。

さて、25ライの全自動カメラは田中の都合で遅々と進まぬが、観測機器の整備は着々と進んでいる。

25ライのセント出しはまあまあ所が出たし、現在16センチのセント出しに取り替えている。また、<sup>12x29</sup>双眼鏡のケーター、霜防止フタにも近々取り付ける予定。

とはいっても、昨夜、今晩共にベテラ星の空、早く、全天快晴の秋空にならぬかな。結局、今夜は23時まで待ったが、晴れさ見込みがないので、帰京することにする。

9/27 23:00

1987.10.17(土)~18(日)~19(日) [redacted]

10/17 今回は田中さんのコテージ [redacted]さんと三人で来所。  
夜9時15分に南千住を出発していわきに12:30に着く。有料  
高速道路は降りてもおつきは無料高速道路の  
おかげで早いのだ。

いわきは快晴で今夜も星空がうまい。ので本当は  
赤道儀のセッティングを憶えらつてもりてあったが、結局菜鳥放  
送局今夜も観望するだけにおわってしまったのだ。

木星は風が強く模様が一ツクリせずガツクリちゃん。  
それよりMT200とα200でM42の見くらへ。

α200の方がFが短いので像が明るくくっきりとした。  
お月さんは風が強いのでみませんでした。

2時半頃カップラーメンが食べたくなり、お湯を入れ出来る  
間の3分間あるつもりが、いつのまにかぐっすりぬてしまい、

斎藤さんの声で起きたのが30分後で、すっかりのびてし  
まいすらいカップラーメンをしぶしぶと食べたのであります。  
今回は自動販売機で買ったキリンのキャンブルもますます  
ついておけません。

10/18 起きたのが11時。地主さんが7時に来て下さることになっ  
ていたが、ぐっすりぬていたのでわがらな。

今日も快晴でのこることになる。  
としまでの時間別にすることもないのでこの夏カビて  
しまったものを虫干したり 観測所のそうじを  
した。

それにしても本相のこるのはいいが、うっかりぬてしまって  
ぬすごして会社を休むことだけはないうにしたいものだ。  
私などは月曜日が最高に忙しいので休んでしまっ  
たら後で何をいわれるかわかったものではないから。

午後3時半に観測所を出て、いわき、KAKO天体観測  
所建設の春の打合せをしに鉄工所へ行き、  
その後夕食を新装なった白樺(旧あおの)食堂で  
食べ帰所。今度は穴堀り作業の打合せを業者の方  
とした。

その後すぐに田中さん [redacted]さんはブラッドフィールド彗星  
の撮影に入った。私は導入してもらった彗星をみた。

その後M33や二重星田を撮影。11時頃くもって  
きたので [redacted]さんは帰ることになる。(田中さんは9時に帰る)  
私は考えたいこともあるし、万が一は帰る場合が  
あるは、流氷屋をみたいこともあり、観測室で一入で  
過ごすことにした。が結局 天気は回復せずじまい。

10/19 今回は2晩いたこともあり、じつにゆっくり出来て  
よかった(本日の仕事のことを考えると頭がいたい)が  
それは考えないこと(しよう)し、少しずつだが望遠鏡  
の使い方がわかったので有意義であった。

ブラッドフィールド彗星もみだし、それから 擬アルデ  
バランあたりから流氷屋が、上の方に向かってロケット花  
火のように脛ひ上がる(痕が残った)のもみれて  
面白かった。

ここからはいわき、KAKO天体観測所が出来たら、天体写  
真もホクホクやりたい。又、天体観測だけでなく来年  
はマウンテンバイクでも購入して 観測所 周辺を  
駆け巡ると同時に、集客を流氷屋の民俗の採集  
もはじめるつもりだ。

せっかく観測所があり宿泊も出来るのだから、ここから  
はここをベースにし、週末きて帰る 遊びをみつけて  
おおいに都会と田舎での二重生活を楽しみたいものだ。

1987 10 17~19日 [redacted]

いわき KAKO 天体観測所建設の内合世で来所  
天気が良かったので日曜の夜ものこり。

ブラッドフィールド彗星を写す。双眼鏡でも

120°ぐらいに広がった短い尾を見ることができた

次週末も来所予定。

1987. 10. 17~18

田中 [redacted]

「うわぎのブラドフェールド彗星」はすばしかに、  
人一倍ほどでははりにせよ、ちもくと尾の見える  
彗星を見たのは久しぶり。もう少し明るくなる  
予定なので、また「また」大きく育ってほしいものだ。

先日、パークトールズの近くで発見された「ビ」  
彗星は残念ながら見えずじまい。

今回はブラドフェールド彗星のみだったが、  
久しぶりに「ゴウキ」してはまった。

19日(A)夜中の3時に帰る。

1987. 10. 20<sup>3</sup>(金) 天気ハク曇、気温9℃

本日は金曜日の夜中 田中 [redacted]

今回は4晩三泊の予定。雨か  
というも、[redacted] 雨氏のKAKO天体観測所  
の建設工事が主目的のためである。

しかし、今週はどうも天気が悪く、早速  
明日は午後から雨という予想。  
とはいっても工事だけはあきらめずと仕入  
たいのので雨天決行の予定。

たまには、東京からここに来る途中の話  
をしておこう。たいていはNHKラジオの「夢の  
ハーモニー(23:10~23:55)」を聞いてきて、  
きて、24時以後は音なしで帰ってくるのが、  
今日は「米、ツ」中距離長兵器制限交渉」の  
臨時ニュースのため1時すぎまで音楽を流  
していた。音なしで一人で小道を走っていると  
音想にかされたりすることもあるのだが、本日は  
は、たおやかな気分で、観測所に着いたとい  
わけである。

1987. 10. 24 (土) 天気 気温 9°C

田中

朝7時頃には曇天であつたが、8時すぎには本格的な雨となつて来た。

しかし、いわき KAKO 天体観測所の工事は雨天決行。本日は基礎ピラーの割り乗る入札と捨てコンクリート打ち。雨が入らないようにシートをかぶせたりして、一人でなかなか難儀な作業であつた。

明日の予定

1. 基礎ピラーの型枠作り
2. 連箱基礎の穴割り (各独立基礎)

1987. 10. 24 (土) ~ 25 (日)

今日の目的は雨がふってしまったので、いわき KAKO 天体観測所、建設のための諸作業だけになったが、25日は雨もあがりある程度基礎工事が出来た。来月には完成の見込みがたつたので、心なほ作業なので少し疲れたが、こちよい別だ。

1987. 10. 24 ~ 25

雨のち

天気: 曇り

今回は月がなくて良いものの、天気が悪くプラトフィードが見れなくて残念だ。

1987. 10. 31 (土) ~ 11/1 (日) 天気 快晴 気温 20°C

今回も田中さんの車で、いわき KAKO 天体観測所の作業の作業所、といふも家 (相模原) を出る時は雨模様でも屋さんがみないだろうと決めかかっていたからだ。ところがドコイ、いわきに近づくにつて晴れ間がみえだし観測所は快晴。これビールを飲んですぐ帰るだろうという考えは、もうもくすいしたのである。観測の方は M42 を撮影したが、5~6分でガイドガス (E200)

かえりなくしよ。やはり基礎がなっていないので P-2 で次回練習をしようと思う。

明日はビールを飲んでさあ帰ろうということでおきてに出てみた。面白いのでびっくり。しかし、12時まで帰ります。作業は 13時すぎから 15時ころまでしか出来ず。いわき KAKO 天体観測所は 11月中には完成するので非常にまちどおしいこのころである。

1987. 10/31 ~ 11/1

9等星のホシリー基星は見つかさ。ルデック基星と7等ほどで観測。尾は見せつ。

AM 4h 30m 上り 6h 30m まで宴会。3人でビール 4.2L を飲む。そして作業と、今日も大変いそがしかった。

1987. 10. 31(土) ~ 11月4日(水)

田中 [redacted]

当初の予定では飛ぶ石連休の二日連続休  
んで作業をするつもりだったが途中雨が  
降、たりにて予定通り通まず。結局4日連続で  
通すことになってしまった。

もっともそのあかげで、基礎工事をすげて、突  
き出すことができたのだから。

1987. 11. 7(土) - 8(日) 天気 雨  
田中政明

11/7朝には軽井沢で-6℃を記録した。いよいよ冬が突入した。

今回やってきたのは、観測所の冬への準備のため。水道の水抜き、農作業小屋の雪払いなど。雪は見なくてもやることはいっぱいある。

1987. 11. 10 - 11 天気 快晴 気温 17℃

田中 [redacted]

昨夜の12時すぎから雪がふくなり、今日は快晴。

平日はかき。月出までの間にレバー、グラブフィールドを撮るために昼1時東京を出た。

ここに書いてもど快晴のなか。雪いれかき。6時前。きれいかき。作業いい作業いい。

まず、シロミトメントを出すために撮影現場

を以てポイント位置を確認してグラブフィールドを写す。

今、おらおら終了して20時30分、きれいかき

また東京へトシボリ帰った。



1987. 11. 21~22-23

田中

新月をさすに連体ということでは例によって  
またまた未所

今回の一番のビッグニュースはなくとっても  
市村 X 天体の発見だ。

南天に低い空で非常に拡散した天体なので  
北半球の観測者にはきいしい所だ。

南天はというと、オーストラリアでは天頂付近  
なので、ブラッドフィールドも見ていないだろうと  
思う。

23日昼現在、スミソニアンからの返電はなし  
とのことだが、今日夕方ぐらいには返事がくる  
ことだろう。

これから東京天文台に行き、ネガを渡して位置  
測定にもう予定。

市村彗星誕生おとめで!!

とねばり!!!

1987 11 20~23

♪ 今回は大変な事になった。

市村さんが新彗星と思われる天体を見つけた  
のだ! 最初見えない天体が見えると言っ  
たので、どうせ暗い星雲であろうと思っ  
ていた。なんと物動が確認されたのである。

それからというもの、田中さんをはじめ所内は  
大さわぎになった。私もまだ使われて  
いる TP 24/5 水素増感で写真を撮るのに大いそがし  
になった。田中さんが香西氏に見つ  
けた後 2 時間ほど電話をしたが、まだ国内での報告は受けてない  
との事で、スミソニアンに連絡したが、23日 1 時 30 分  
の現在になっても確認したとの電話はこない。

これから私の写した写真や田中さんの写真を持って  
東京天文台へ行く予定だ。だが市村彗星誕生  
はまちがいなにからう!

1987.11.20~23

時間なき為パス 次回までに書いてもてきませう、

1987.11.28-29 (土-日)

天気が今回はよくなく残念。雪が降らずしく観測所周辺は白。市村彗星は前回みただけでぶり。周知彗星だったよかたのに。今回はいわき・KAKO天体観測所へ望遠鏡をセットする為とMT200を持ち帰る(清掃する為)を来所したので。いわき・KAKO天体観測所の方は完成直前問題なく屋根ぶきが出来ていないので望遠鏡はセット出来ず。

来中には何とか完成させるつもりでいる。こんな小さな観測所でもいざ作るとなると色々問題がでて時間がかかるものだ。

1987 11 28/29

先週は大変な一週間でした。市村彗星が新聞で報道され、いわき観測所の名が天文界に知られたことでしょう。

今日は市村彗星が見れる最後のチャンスと思つて来所したのですが、天気は曇りで、地上はすでに冬景色となっていました。

1987.11.28-29-30

最大気温 -2.0°C

田中

先週は大変忙しい一週間でした。

移動の追跡のためにデータの収集、計算表の打ち出し、さらには現像等々、やること一杯ありすぎて、睡眠時間が少なくなる一週間でした。

さらには、古山彗星の発見もあり、その快報はピークに達してしまつた。(市村彗星の女とサ-バイアをおけば良かったなあ)

今回ここに来て、この静けさの中に身を置いて始めて、落ち着いた感じがした。

さて、いよいよ、11月、は冬に入。やってきた時に初雪がふったようで、路面は一部凍結していた。さらに観測所の回りはうっすらと凍化粧。素晴らしい季節の到来だ。今回は上弦の月があるので、月没の後、夜中に「古山、その他の天体を写して深夜に帰京の予定。

1987 12 ~~19~~ 19~20

19日 PM 10:30に到着。晴れているが、ファインダーで星を見ると、うす雲がかかっていたため写真撮影は不可能。倒ヒよつてビールを飲んで寝る。20日 夕方6時 あられが降つた。プラットフルドを見れる今年最後のチャンスだったのだから...

1987.12 19~20  
(土) (日)

今年最後の予定で来所したので、晴れることをいのけてきたのだが、まだ途中まで晴れていたのだが、昼間あたたかたせいで、雪がとけ、その関係で、いまいちすっきりしない屋空で残念でした。

3時頃に引抜け、1人のパーティパーティーをかね、2人で宴会をして帰たのでした(4時前)。この時まで田中氏は来所していないので、途中でスピーチでつかけてしまったかとか、いろいろとあらゆる理由を考えてたのですが、結局、この明方にはこないだろうということになったのです。

11時30分すぎに田中氏に起こされたときには「びびり!!」どうして今田中氏がいるのかよくわかりなりました。田中氏は我々が宴会を終え、帰たあと30分位して来たとのこと。ルーフもあけ、5時頃そうたをしていました。それに、2人は気があつ、グッスリ。とほことして、帰る時間がきたので、この辺で。

1987.12. ~~19~~ 19-20-21 天、晴→曇り→あられ

きんちの小屋に電気が入り、ようやく完成した。総費用は170万弱だが、まあまあ出来は"之"と認るだろう。

両氏はさっそく、望遠鏡を買った。鏡筒を真上に向けなければ、屋根が邪魔なこともなく、スムーズに開閉できる。

計画から約2か月、設計から完成まで、まあまあ早さといえよう。

残る工事は来春、基礎のコンクリート打設(一部)と、その他、若干あるが、除々に手を加えていけばいいだろう。

さて、今月の新月は、どうも天気が悪し。

12月始めの寒波は、ま、ま、ま、こここのころ

暖かい日が、続いている。せいか、そやが、多。

又、本日は低気圧が北日本を通過中のため

晴れたり、くもつたりの天気になっている。

さて、本日(21日 日曜日)は何時に帰京すべきか?

12/21 20:00 系書 17時晴になつた

1987 12 26~27

天気  
ト快晴

月の条件も良いと言うのに、結局今回来所したのは私一人だ。年末でみんな忙しいのであろう。(ひまなのは私だけ?)

12月末というのに今年是非常にあたたかく、(3年前には確か-12°Cだったこともある)

気温は+5°C しかも快晴無風であったが、写真撮影の方は思う様に進まなかった。

原因 その1 JpにE200とニコン8cm EDを同架したもののEDがマウントにぶつかってしまい結局

E200とEDを<sup>(一緒に)</sup>同架するのは無理だった。

原因 その2、今回初めてE200にブローニーを使用した<sup>(一機に)</sup>が、          さんが話していた通り、シャッターがついてないのでかなり苦しい。ふたをシャッター

がわりにするのだが、ふたをした時としない時で十字線にのせたガイド星の位置が変わってしまうのだ。

今年も来所するのはこれが最後? でしょう。

いわきのみなさんよいお年を!

(来年は田中さんの番ですよ。何かって?! も53人----)

1987年 12月 27~28日

快晴

高橋           

冬休みを利用して夕方に来所、予定では、今春新設の“いわき明星大”と“いわき市石炭館”へ行き、その帰りに観測所へ立ち寄り電とにしていった。しかし、道すがらラジオの天気予報で、日に日に天気は崩れるとのお告げなので急遽予定を変更して先に来所してほった。こうして、見事な冬の天の川の下、一夜(実際には上弦の月が沈んでからなので半夜)今年最後に残るであろう観測を楽しんだ。

ところで、私事 昨年はハレー彗星を追ってオーストラリアへ、そして今年は今環日食を見に沖繩へ、来年は皆既日食を見にミンダナオ島(い3い3海峡絶えないフィリピン)へ出かける計画を立てています。この計画(ミンダナオ皆既日食観測隊)に参加される方はいませんか? おりましたら連絡を下さい。符っています。それでは、来年お会いしましょう。

よいお年を!!

1987. 12. 28 ~ 29.

◎快晴。 市村。

12/28 (A). 11時着。今回は子供(長男)連れです。器材はすべて  
稜鏡の観測所に置いてあるので、手には手袋です。12cmの双眼  
鏡様と、8cmの双眼鏡君にお世話になってます。

快晴とはいえ、暖かすぎるせいか、全体的に薄毛がからでい子  
のような感じです。12cmという口径と20倍という低倍率のため、ふたん  
家で見てい子のような(33cm、50倍)ものか、(ほとんど、入ってこないのは  
何とも淋しい気分です。今回の彗星は、遅く見つけられたため、  
写真や大口径での探索の隙をぬいて、12cmで探るのは、このう  
へんが先かします。それは別として、12cmで見える銀河は  
美しいですね。

朝方まで、4時間ほど見てしまいましたが、12cmの双眼鏡は疲れます。  
腰が痛い。

(注) コカコーラのケースは捨てないでください。双眼鏡をのぞくときのアイズです。

12.29 ~ 30

◎快晴

朝から快晴です。天気予報では、今夜半から前小嵐とのことですが  
4:05PM現在、リ手は曇りつつは、快晴です。長男は、下ハレの  
で、漢字の勉強。何もないので、自分で遊べる見つけたくらい  
いいのだから、よく人を頼りすぎるがある。

2:00頃、(自権)まで食事に行きました。適当な味と値段と  
いってあげ。

今回のリウマ採訪には、スベイクウチ作を得意として至るのみに、  
何らかの調子が狂ったみたいです。リウマの空は、曇るほど、クリア  
にはなりませんからね。

11:45 P.M. 月はまだ沈まず。少し、モヤがたむのた、深、ていふ。  
月光に照らした地上は、すでに霜のようです。

床前看月光  
疑是地上霜  
举头望山月  
低头思故乡 (李白)

(変訳)

ベッドで、じくんといる。月光にさそわれ  
外を見てみよ。一面、霜が降りたようでは、  
顔をあげると、岩山に月がかがつてあり、  
故郷を思い出してしまふ。ついでに、  
故郷を思い出してしまふ。ついでに、  
故郷を思い出してしまふ。

「静夜思」という漢詩です。高校時代に習った人々多いのでは。  
二句目、「疑はらくは、是れ、地上の霜かと」というあたり、今の光景と  
そっくりで、ついでに思い出してしまふ。おそらく、昔の日本人は、  
ここのなかに、声をあけて、詠んでいた(うた、うた)のかもしれません。

(※ 上の訳では、テストと、点はわかりません)

これは、静かな雰囲気です。とて、好きなんですよ。  
「此中有真意、欲辨已忘言。」(この中に、真理というものがあふれた。  
(陶淵明) (説明は、いって、全く言葉が見つからない。))

天気予報では、夜半からくられて、雨か雪の可能性があったので、  
夜明けまで快晴。まじ、私は、晴小男にちがいない。

双眼鏡は、のぞく姿勢にムリがあり、かなり疲れる。長い間、ついで  
見るこじかできない。

30日、9:42 AM.

部屋と観測室の掃除をしました。全く、他に  
ことか、ありません。さうさう、下界へ、出てみよ  
うかと思ひます。

温泉(らじお)へ行ってみよかな。場所は  
からないけれど、探索はから...

知っている人は、地図を巻いておきませう!

1987. 12. 30-31 晴快晴 気温  $-5.0^{\circ}\text{C}$

田中 [redacted]

今年最後の来所となるであろう今回の11月行き(もう  
大みそかに入ってしまった) 目的は明け方直前に  
見えてくるはずのマックハート彗星を見るためと、  
来年度のプラコをじっくり練るためであった。

ここ1週間ほどポカポカ陽気が続いたせいか、  
30日昼すぎからの寒波が、夜けに身にしみる。  
さらにここにもどってくる途中の風の強いこと、強いこと  
倒れにより、12時すぎに到着した。今年最後の  
仕事のつかひがどどと出て、小1時間ほど横に  
なった。

3時すぎから、明け方彗星のチェックと双眼鏡  
による星空探訪を行い、朝5時半ころ。

目的のマックハート彗星を見出した。光度8等  
視直径3'ほどの小彗星である。尾は確認  
できなかった。

さて、来年は、いろいろなプラコを考えているが、  
じっくり、じっくり、いつか片づけることにしよう。

1987. 12. 30, ~ 12. 31

1月の終わりに来たばかりで、その後また来てい  
ない、いろいろ追加した、おまけがまた来た、  
ものか、今回は12cm双眼鏡で少し見えた、見えていた  
のであまり見えなかった、3時半ころには寝てしまった。

1987 12 30~31 天気: 快晴 気温  $-5^{\circ}\text{C}$

12月26~27に前回来所して今年はこの最後か  
と思っていたが、やはり? また来てしまった。  
今回は、高校時代の友と彼の新車CR-X Siで  
やってきました。月没から2時間しかなかったが、  
薄明の中でマックハート彗星も12cm双眼で見れた。  
それでは観測所の皆さん、もう一度、よいお年を!

1988年1月16日

天気 曇向は快晴

気温  $7.5 \sim 5.5^{\circ}\text{C}$

今年の1月は正月から、異常に暖かく、11月まで雪はまだほとんどないようだ。

もっとも、雪の多いのは2月-3月なので、ここで気をゆるめるわけにはいかない。

今回は、またまた350市道儀に載せる機材の変更で、今度は25ヤ-4ライトを改造して、30ヤ-4 純正2-1-1に1、これを4ヤ-4-1に、そして、両立端に16ヤ-4 22ミットを2連載せるといったものがある。

これでは、眼視対象と、Deep skyのobs. 55に広視野のサーベイと、一応のライントップが、仕上がるというものだ。

とまあ、それは、今月一杯で、16ヤ-4ミットを、使うように作業を進める予定だ。

1/16 18:00 天気 曇りよす 帰京 5:12

1988年1月23-24-25日の早朝

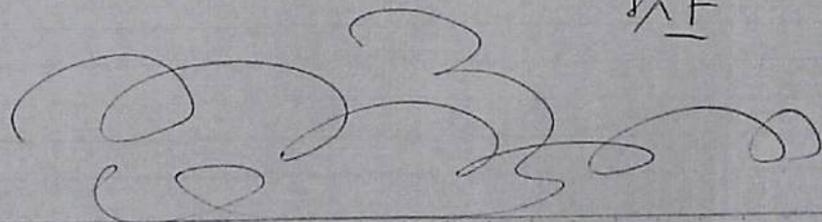
1/23夜 19:00発のひたち45号で、田中さんといっしょに出発。途中、水戸で下車し、平行きの各駅停車に乗りかえ(特急料金がもったいないし、ひたち45号は勿来にとまらないので)勿来へ21:30に着く。勿来には田中さんが待っていてくれた。買い物をして観測所へ。

早速、田中さんに、アムからはこんできていただいたNIKON 12cm双眼鏡の荷をほどき、組立て、M42、フレアテス、二重星団、M78などをみる。みえぬは、抜群でよかった。残念なのは裸眼で直接みえないことである。不自然な姿勢で、そのくは、確かに、疲れるが、そんなものは星をみているは、忘れます。2時頃までみていたが、雪が舞ってきて、礼(お酒をみ、礼し、もてはなめたのだが)やはり、ワタクシは、2時まで、男なので、しょうが、こゝでは、困るので、こゝから、後の時間が、仕事なので、めら)。

1/24 昏に起きて、おとも、特別なので、KAKO天体観測所で、ホフーと、NIKON 12cm双眼(愛杯、ミナ)を眺めたり、ミナで、風に吹かれ、舞っている雪や、木々をみてたのしむ。おれから、田中さんの作業を手伝い、夕方、白薙にぬしをくいにいき、今日、斎藤さんと酒を飲みながら、この日記を書いてます。夜の7時です。おれから、おとは、むりして、11時頃、星をみて、明け方、2時頃、帰る予定です。

ミナが、はいたので、おれから、いっしょに、くると、楽しんでます。毎週、きたいくらいてますが、おれは無理なので、毎月3連休を、1回位とって、じっくり、ミナで、星空を眺めたいと思、つてますが、今の職場にいるうちは、むづかしそうです。

以上



1988 1 23~25日

天気 23日夜: 星は見えるが雪  
24日 昼: 晴れ 時々雪雲り  
24日夜: 快晴

観測所のみなさんおけましておめでとうございま  
本年初来所です。今日は [redacted] さんが購入した  
ニコン12cm双眼で星雲・星団の観望を楽しみ  
ました。Ⅲ型だけのことはあって [redacted] さんのⅡ型  
よりコントラストが良い様です。

現在 24日 PM 7:10 です。酒を飲みながら書いて  
ます。これから PM 11:00まで寝て、AM 2:00まで観測  
して帰る予定です。明日の仕事のつらさを考えると  
ゆっわっ です。

1988 1 2 13~14日 PM 7:00

天気 雲り時々雪 昼間快晴 夜雲り

今年2回目のいわきです。ケーソンをつけてやっていたの  
観測をしようとしたら雪ってしまった。14日<sup>夜</sup>もいる予定  
であったが、ぐた雲りの為、帰る事にする。

日程 上と同じ

NIKON 20x120Ⅲで星を何ものぞけず残念。  
(今回のがすと 4月までニコンの予定なので)

以上

1988. 2. 14-15 (A)-(A) 爽快晴 気温 -8°C

田中

この2月の新月にははなとか、2-3晩、連続で「ゆきごもり」しようと考えて、仕事をサリクリしてようやく、日程が取れた。そのかわり祭日、明登、出勤で仕事をこなしてきたハゲか……

今日(14日)の朝(真夜中)にここについて

、~~田中~~ 両氏は帰った女と。日記を見たら夕方までは待っていたとのこと。

私が着いた時にはド快晴!! たくど2人は帰って来た人だろう? (夕方の時点ではベタ雪りだったそう)

風速289の雪も、観測所付近の雪はいつもと比べると少ないが、それでも屋根には30センチくらい積っていて屋根を女けるみにいと苦労した。

明登のデネグ近くのマック1ートを使って

① 16:00 マック1ートのセント出しを夜明けまで行った。

マック1ートは右側の予報とあり9等ほどで

12:00 4双 眼でも良く見えた。

1988. 12. 15-16 (A)-(A) 爽快晴 気温 -10°C

夜 ~~田中~~ 氏にリテシカリ、東京でも今年一番の寒さらしい。ここでも-10.0°Cと久し振りに犬舎に乗った。そのせいで、ほっぺたが痛い。目手帽をすぼりかぶり、「ニードタイトマラソニ」を着ている姿は、またく異様に写っていることだろう。周辺の~~田中~~ けものたちも、恐れをなしたか、今夜は声も出さない。

さて、夜中12時(頃)まで、極軸の調整などをやって、実際に16:00スタートで、サーベイを開始したのは2時すぎになってしまった。

夜明け寸前の5時までサーベイ用として掃り続けたが、結局 ~~2本~~ 2本のマック1ートで18:00のみ。この感じからすると、1人で一晩に目い、はい掃り込めるはやはり50:00程度かな。

それにしても、もうごい体力を消耗してしまう。

明け方にはくたくたとなって、ベタリ倒れ込んで、B.とんにもこい込めた。

1988 2 19~21

天気 19日夜快晴 20日昼 雪のち晴  
20日夜 曇りのち快晴

今日は一人だったので、19日PM7:20 残菜が終つてから直接やって来た。R281は先週の雪がまだかなり残っていたが、チェーンをつけずにこれた。

20日 AM1:00 から撮影を始めた所、赤道儀のモーターのギヤが壊れてしまい動かなくなってしまった。

結局修理不可能だったので、上に置いてあるJ型の金具を借りた。

AM4:00 マックノート 彗星を早そうとしたが、視野になかなか導入できず、40分以上かかってしまった。

9等級という予報だったが思ったよりは暗く、小さかった。

イメージとしては M97 惑星状星雲の様を感じてみた。

20日PM7:00 [redacted] さんが来所。PM12:00 までドロン雲りであつたが、その後明け方まで晴れ、春の星雲星団とマックノート 彗星を写す。

約 21日 PM1:30 帰京する。

1988年 2月20~2月21日

天気、夜半前までうす雲あり、そのうち快晴ただし風強し、  
-7℃

なんと!!

1年9ヶ月ぶりの来所です。  
久しぶりに訪れた観測所、大分内装の方も出来上がり、居住性もグンと向上。

これで夜中寝ている時に、顔の上を通過した「なにが」に悩まされずに済みそうです。

今回、カメラ以外は持参せず、ほとんど手ぶらの状態で来たのですが、350型のコントロールボックスがない! この日誌を読んでみると、結構何回もトラブルが発生しているようで、今回も修理のため、田中さんが持って帰ったとのことでした。

しかももう1台あるTS160J型の方は極軸が狂っているとのこと。撮影予定を変更して、広角星野撮影に切り替え、北極星をポラライザーの2重円のリキトリ、な位置に入れ、あとはノータッチガイドにし、撮影中は観測準備室のこたつで暖をとるという、実に軟弱な撮影方法になってしまふ。はたしてちゃんと写っているのかどうも。

以上のような方法で朝方5時頃まで撮影を続けたが、折角の強風のため、こたつで暖をとっている時、星団が1枚(コピーしたバグナル星団、ビニールシートに入れてある)風にとばされたかみえて紛失、手抜き撮影のしっぺ返しを食らってしまった。—— 見つけた方、保管しておいて下さい。

次回はいつ頃これほどでしょうか? 春頃には又来たいと思います。

1988 3 12~13

天気: 12日夜 快晴 強風

路面に雪があるかないか心配しながらやって来たが、  
まったく無く、楽にこえた。やはり今シーズンの冬は  
特別なのであろう。天気は良かったが、モーレツな風の  
為、KAKO観測所のスライディンググループが観測中に  
動いておどろいてしまった。この様な強風では  
MT 200 などの長焦点のガイドは不可能なので、  
ニコン 8cm ED + TP 2415 で撮影を行った。

13日 AM 10:50 市村さんからTELで起こされた。  
来週、金土日月と、来所する<sup>(予定)</sup>ので、(私は土日月)  
楽しみである。午後になって段々雲が多く  
なってきた。~~PM~~ PM 4:00 現在 青空も見えるものの  
うち曇り状態で、もう少ししてから青野に食事をして  
行き、天候が良ければ今夜も観測して夜中に帰るが、  
悪い様な事はそのまま帰るつもりである。

P.S.           さんの 風には飛ばされた星図、拾いましたヨ!  
準備室の本棚の所に置いておきます。

1988年3月12-13日

3日より日食へ高橋さんのグループでフィリピンまで行くので、  
先月の段階では今回はパスする予定であったが、前回星  
がみれなかったこと~~も~~あって、きしまいました。

今回は強風の中での観測で、KAKO観測所の屋根の  
止め金もないうつ突風で動きはじめたのにはおどろ  
きました。望遠鏡にぶつかる前に止めることが出来たので、  
ホッとして、その後止め金をして観測をしたのですが、  
どうも止めても定心出来ず、落ちついて観測出来ませんでした。  
今回は春の星座の星々をミナ(NIKON 12cm 双眼)で  
眺めました。今回みたマシ天体は M12, 10, 68, M83 の  
4つと少ないのですが、だんだん数がふえてくるのは楽しいも  
のです。次回もし少し暗い天体もみつけられるようにした  
いと思っています。また彗星もみていないので、早くみてみた  
いものです。誰か早く発見して!

いゆき☆KAKO天体観測所では、今月より会報を出すことにな  
り、ここへくるまでワーカも打って編集完了させコピーも  
して、観測所へ持ち込み、製本をしました。毎月出す  
予定なので、しんどい気もしますが、こういうことは好きなので  
苦にはなりません。毎月活動報告が出来るようにしたい  
と思っています。いゆきのXNHが全員にはあくばり  
出来ないのでも、観測所へおいてもらうようにしますので  
ヒマのある方はよんで下さい。なお、おいておくのは4月頃  
になります。

1988. 3. 17 ~ 18 - 19 ~

17日 ドシヤ降りの雨

2°C

田中: [redacted]

18日 快晴

-1.5°C

19日

3Aの新月の予定として、5晩観測する予定で来所。とは言っても、たぶん晴れる確率は5割を切るだろうから、2晩で「きれいな」観測かな?

17日はドシヤ降りの雨の中をやって来た。山の上は雪かたと思いたが、観測所の周りに少し雪がまじりかたで、道筋はキーンとしてスイスイ。今年の冬はやはり暖かかったようだ。

18日は夕方遅くから快晴。しかし、ガイドアイボースの修理や、ヒッターの製作、市道儀の調整などで、どんどん時間が過ぎてゆき、結局、まともにサーベイを始めたのは2時すぎ。しかも、TP6415のプリント出しをかねたもので、あまり期待できない。

19日は夕方からベタ曇りとなり、斎藤君が来てきた。20時すぎから、大宴会となってしまった。朝4時半に目を覚ました。またベタ曇りだったので、すぐに寝てしまった。

20日は昼間、彗星会議に役員を出し、夕方、快晴の空の下を乗車で帰ってきた。しかし、帰りついたら下人にベタ曇りで、今夜もダメかな?

1988. 3/18, 19, 20, 21

↑  
暗  
↓  
曇  
↓  
曇  
暗  
暗

3月18日、26時(正式には、19日午前2時頃)到着。

天気は、暗い。

薄明が始まる4時30分頃まで、観望。

裸眼にくるくと空は暗い。やはり微光星や深いおぼろは見えない。

20mm反射に慣れず、17mm口径、12mm双眼では、17mm口径の暗い視野が見えない。

3月19日は快晴。朝方まで集会。

3月20日、午前京大の彗星会議に出かける。(アライバウイ)。

夜、快晴...に、たぶん、17mm口径、白楯の金庫に

出てくる。曇っている。朝方までネーブルが、薄雲がかり

12. よし見えない。4:00に就寝。

3月21日、8時に出発。——の予定だったか...

1988 3/19~21

せつがくの連休だと言うのに、二夜とも曇ってしまった。

やはり春の天候である。

帰京してからの、日食にフィリピンにでかけた

新妻さんのカズミちゃんリポートが楽しめた。

1988 4 15~17

天気 二夜快晴

速い！速い！速い~~~~~

何か速いから。自宅から観測所までの  
時間である。今回、はじめてなこそICから  
やって来たが、わづか2時間15分である。

(高速は100~120kmのスピードで)

まるで東京からワークして来た様だ。

16日 AM 11:15m KAKO 観測所 待望の

アスコ260が搬入された。260は3つに  
分解されてはいたが、それでもムチャクチャ重く、

観測所の中に入れてだけでも大変な作業であった。  
アンカープレートを置くのに、南北線がでて  
いなかっただので、組立は17日昼間、二人で  
ヤコとの思いで組立てた。

星の方は、ひさしぶりに写真が撮れたという  
感じで、17日明方には(尾が長くのびた)  
ワウー彗星を5等級  
位で見ることができた。

1988 4 15~17

1ヶ月ぶりなのだが、今回はもっとたっている気がする。  
そんなせいも、いつもより調子がのらない。  
カセがまだ完全にはなまりきっていないためかもしれない。  
今回は待望のアスコ SX260マルチ赤道儀が搬入されるので  
やってきた。260を11kgのため、16日の夜は久しぶりに

<sup>3つに分解された状態で</sup>  
観測所の前にミナを出して、屋雲・屋団の散策をした。  
それほど寒くない、狭いところから開放された感じがした。  
ところでひとりで観望をするのもたまにはいいものだ。  
今回は二晩晴れて、~~新しい~~新しい屋雲・屋団をみつけて  
よかった。

1988, 4, 23~24 天気 晴り 晴  
田中政明

常磐自動車道が3月24日に開通して始めて  
それに乗りもってきた。今までより、確実に30分  
は短縮できるようで、3時間を切るのはあたり  
まえにたりそう。~~田中~~君ではないが、都心から、  
2時間ちょっとで、ここに来ることが夢のような  
気がする。

~~田中~~君のJP160が2階に上ってきたので、~~田中~~  
~~田中~~さんの丁里を引き上げることにした。

1988. 5. 3-5. 5

田中 [redacted]

この5月の連休は満月のたぐ星は無理だが山でのんびり過ごすにはかえって好都合といふことで、家内と2人で2泊することにした。

3. 月の夜はすっきり、春も進んできたというのにこのあたりはようやく春にな、たばかり。

新緑もまだ、少しく、吹き渡る風も冷たい。

今回は2日間ともベタ曇り、雨で、夜はくもり、天気ではな、たが、うぐいすに走りこせ、山の中、空気を吸って、実にすがすがしい日々を過ごせたように思う。

車検は、本日、5月5日、帰りの高速が混まないことを祈るのみ。

1988. 5. 16-17. 天気快晴 気温9°C

今日は月曜日の夜。平日の夜。

今回は [redacted] と共に「平日にいわきに行く連合」を組んで、2人でやってきました。彼は

途中で少し休んだが、私はぶ、通して3時まで3時半にここを出て、仕事場に直行。

今日の仕事はきつそう。

観測中の新彗星の連絡表

5/2 - X - カ - 木

5/3 { 22h 17.5<sup>m</sup> 11等  
+24° 03'

5/4 { 22h 17<sup>m</sup> 8  
+24° 41'

これで、5/2 - X - カ - は 13 個目の彗星!!

1988. 5. 18-19. 天気快晴 気温13.5°C  
田中 [redacted] 12°C

船倉目に続いて、本日、平日の水曜日なのに  
またやってきた。天気が、本日で終りというのと  
新彗星の動きを追尾するだけ、そして、サウ  
の夜。

[redacted] 君に出かける直前に印したよ。

「ええ!! また行くんですか?」と驚い、  
くりていたが、別におどろく事もないように  
というわけで、[redacted] 君は入る。私一人での  
単独来所と化した。

2時頃までは、まあまあ天気ではあったが、  
夜半だけ直前にはも雨がでて、いまだとつと  
いたところ。

今、3時半、さあ、これから又東京に戻りたく  
つた。-----

1988年 6月22日-23日 天気快晴→曇り  
(ok) (オ) 気温14°C

今回も平日ながらの来所。

この新月の間は、ま、た、く、天気が悪くて、  
そして、本日、ようやく晴れたというわけ。とは  
言っても、梅雨の晴れ向ゆえ、11時まで続くか?  
夜半すぎに音いて、3時までの小雨が、2時向  
3時の間にやるべき事が多すぎる。

1987年1月

日	曜	脚	天	来所	者	内容
①	本		晴丸			
2	金		雪			
3	土		晴丸			
④	日		晴丸			
5	月		曇			
6	火					
7	水	①上弦				
8	木					
9	金					
10	土		吹雪			
⑪	日					
12	月					
13	火					
14	水					
15	木	①満月				
16	金					
17	土					
⑱	日					
19	月					
20	火					
21	水					
22	木					
23	金	①下弦				
24	土					
⑳	日					
26	月					
27	火					
28	水					
29	木					
30	金					
31	土					
21	日					
2	月					

1986年12月

日	曜	脚	天	来所	者	内容
1	月					
2	火					
3	水					
4	木		晴			
5	金		雪			
6	土		快晴			
⑦	日					
8	月					
9	火					
10	水					
11	木					
12	金					
13	土					
⑭	日					
15	月					
16	火					
17	水					
18	木					
19	金					
20	土					
⑳	日					
21	月					
22	火					
23	水					
24	木					
25	金					
26	土					
㉑	日					
28	月					
29	火					
30	水					
31	木					

3月

日	曜	時辰	来所者	内容
1	日		!	
2	月			
3	火			
4	水			
5	木			
6	金			
7	土	●上迄		
8	日			
9	月			
10	火			
11	水			
12	木			
13	金			
14	土			
15	日	○借月		
16	月			
17	火			
18	水			
19	木			
20	金			
21	土		○新井	
22	日			
23	月	●下迄		
24	火			
25	水			
26	木			
27	金			
28	土			
29	日	●新井		
30	月			
31	火			

1987年2月

日	曜	時辰	来所者	内容
1	日		○ ○ ○	二20部分付前 10-21
2	月			参照
3	火			
4	水			
5	木			
6	金	●上迄		
7	土			
8	日			
9	月			
10	火			
11	水			
12	木			
13	金			
14	土	○借月		
15	日			
16	月			
17	火			
18	水			
19	木			
20	金			
21	土	●下迄		
22	日			
23	月			
24	火			
25	水			
26	木			
27	金			
28	土	●新井		9 田中, [redacted]

1987年

5月

日	曜	胎	胎	来所	卷	内容
1	金					
2	土					
3	☉					
4	☉					
5	☉					
6	水	●上弦				
7	木					
8	金					
9	土					
10	☉					
11	☉					
12	火					
13	水	○朔				
14	木					
15	金					
16	土					
17	☉					
18	月					
19	火					
20	水	●下弦				
21	木					
22	金					
23	土					
24	☉					
25	月					
26	火					
27	水					
28	木	●朔				
29	金					
30	土					
31	☉					

1987年 4月

日	曜	胎	胎	来所	卷	内容
1	水					
2	木					
3	金					
4	土					
5	☉					
6	月	●上弦				
7	火					
8	水					
9	木					
10	金					
11	土					
12	☉					
13	月					
14	火	○朔				
15	水					
16	木					
17	金					
18	土					
19	☉					
20	月					
21	火	●下弦				
22	水					
23	木					
24	金					
25	土					
26	☉					
27	月					
28	火	●朔				
29	☉					
30	木					
31	☉					

1987年 7月

日	曜	時辰	來所者	内容
1	水			
2	木			
3	金			
4	土	上弦		
5	月			
6	火			
7	水			
8	木			
9	金			
10	土	朔		
11	月		田中	制送儀調整
12	火			
13	水			
14	木			
15	金			
16	土	下弦	田中	
17	月	快晴		
18	火	馬		
19	水			
20	木			
21	金			
22	土			
23	月	快晴	田中	
24	火			
25	水			
26	木	朔		
27	金			
28	土			
29	月			
30	火			
31	水		田	観測所視察

1987年 6月

日	曜	時辰	來所者	内容
1	月			
2	火			
3	水			
4	木			
5	金	上弦		
6	土		田中	
7	月			
8	火			
9	水			
10	木			
11	金	朔		
12	土			
13	月			
14	火			
15	水			
16	木			
17	金	下弦		
18	土			
19	月			
20	火			
21	水	快晴	田中	田中出
22	木			
23	金			
24	土			
25	月	朔		
26	火			
27	水			
28	木			
29	金			
30	土			



1987年11月

日	曜	月	齡	天気	来	所	者	内容
1	日	木		雨	田中			観測所工事
2	月	火		雨	田中			
3	火	水		雨	田中			
4	水	木		雨	田中			
5	木	金		雨	田中			
6	金	土	○満月	雨	田中			冬準備
7	土	日		快晴	田中			カニ、クマ、フクロ
8	日	月		快晴	田中			
9	月	火		快晴	田中			
10	火	水		快晴	田中			
11	水	木		快晴	田中			
12	木	金		快晴	田中			
13	金	土	○下弦	快晴	田中			倉庫の修理、打
14	土	日		快晴	田中			夜、ホリ、草
15	日	月		快晴	田中			
16	月	火		快晴	田中			
17	火	水		快晴	田中			
18	水	木		快晴	田中			
19	木	金		快晴	田中			
20	金	土	○新月	快晴	田中			快晴
21	土	日		快晴	田中			" 市村野里発見
22	日	月		快晴	田中			
23	月	火		快晴	田中			
24	火	水		快晴	田中			
25	水	木		快晴	田中			
26	木	金		快晴	田中			
27	金	土		快晴	田中			
28	土	日	○上弦	快晴	田中			ハゲ曼 初雪
29	日	月		快晴	田中			
30	月	火		快晴	田中			

1987年10月

日	曜	月	齡	天気	来	所	者	内容
1	木							
2	金							
3	土							14時 KA KO天体観測所図鑑引込
4	日							(田中)
5	月							
6	火							
7	水		○満月					
8	木							
9	金							
10	土							
11	日							アノ天体大会(於東京)
12	月							(田中)
13	火							
14	水							
15	木		○下弦					
16	金							
17	土			快晴				月明かり
18	日			快晴				夕方オールドマニ
19	月			快晴				草
20	火			快晴				22時オールドマニ
21	水			快晴				
22	木			快晴				
23	金		○新月					気温9°C 雨
24	土							雨天中観測所工事
25	日							基礎工事
26	月							
27	火							
28	水							
29	木							
30	金							
31	土			快晴				観測所工事

1987年12月

日	曜日	断夜	来所者	内容
1	火			
2	水			
3	木			
4	金			
5	土	●断		
6	日			
7	月			
8	火			
9	水			
10	木			
11	金			
12	土			
13	日	●断		
14	月			
15	火			
16	水			
17	木			
18	金			
19	土	●断	田中	
20	日			
21	月	●断		
22	火			
23	水			
24	木			
25	金			
26	土	快晴		
27	日	●断	高橋(奥)	
28	月	"		
29	火	"	市村	
30	水	快晴	田中	
31	木			

1987年度 観測所使用状況

(86, 12 ~ 87, 11)

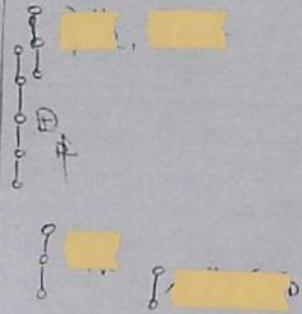
田中	51夜
[Redacted]	28
[Redacted]	16
[Redacted]	9
[Redacted]	11
[Redacted]	3
[Redacted]	3
[Redacted]	3
市村	4
新井	1
[Redacted]	1

何もできず  
ブレイクホリ  
イールド 方山系

1988年2月

日	曜	断	天	来所者	内容
1	月				
2	火				
3	水				
4	木				
5	金				
6	土				
7	日				
8	月				
9	火				
10	水				
11	木				
12	金				
13	土				
14	日				
15	月				
16	火				
17	水				
18	木				
19	金				
20	土				
21	日				
22	月				
23	火				
24	水				
25	木				
26	金				
27	土				
28	日				

快晴  
快晴  
快晴  
快晴



16日コトトヨ3  
05 9:00, 11:00  
6:20-11:00 他  
里野撮影

1988年1月

日	曜	断	天	来所者	内容
1	金				
2	土				
3	日				
4	月				
5	火				
6	水				
7	木				
8	金				
9	土				
10	日				
11	月				
12	火				
13	水				
14	木				
15	金				
16	土				
17	日				
18	月				
19	火				
20	水				
21	木				
22	金				
23	土				
24	日				
25	月				
26	火				
27	水				
28	木				
29	金				
30	土				
31	日				

川口天体観測所 1988年新年会 (於東京)

快晴 田中

25日ト. 改定の日

快晴 田中

12月24日眼鏡挿入  
350赤道儀 租上17"

1988年4月

日	曜	断	取	来	所	者	内	容
1	金							
2	土	○新						
3	④							
4	月							
5	火							
6	水							
7	木							
8	金							
9	土							
10	④	●取						
11	月							
12	火							
13	水							
14	木							
15	金		快晴					
16	土	●新		○	市村		△15-他	撮影
17	④							
18	月							
19	火							
20	水							
21	木							
22	金							
23	土		△曇					
24	④	●取		○	田中			
25	月							
26	火							
27	水							
28	木							
29	④							
30	土							

1988年3月

日	曜	断	取	来	所	者	内	容
1	火							
2	木							
3	木							
4	金	○新						
5	土							
6	④							
7	月							
8	火							
9	水							
10	木							
11	金	●下法						
12	土		快晴					△=80cm 1=F3 撮影
13	④		快晴					
14	月							
15	火							
16	水							
17	木		△曇					
18	金	●新	快晴	○	市村	田中		市道係 調整 田中
19	土							
20	④							
21	月							
22	火							
23	水							
24	木							
25	金	●下法						
26	土							
27	④							
28	月							
29	火							
30	水							
31	木							

1988年6月

日	曜	节气	来所者	内容
1	水			
2	木			
3	金			
4	土			
5	☉	快晴	☉ 田中	☉ 田中
6	☾			
7	火	☉ 下弦		
8	木			
9	木			
10	金			
11	土			
12	☉			
13	☾			
14	火	☉ 新月		
15	水			
16	木			
17	金			
18	土			
19	☉			
20	☾			
21	火			
22	水	☉ 上弦 快晴	☉ 田中	☉ 田中
23	木			
24	金			
25	土			
26	☉			
27	☾			
28	火			
29	水			
30	木	☉ 朔		

19885月

日	曜	节气	来所者	内容
1	☉			
2	☾			
3	☉			
4	☾			
5	火			
6	☉			
7	☾			
8	☉			
9	☾			
10	火	☉ 下弦		
11	水			
12	木			
13	金			
14	土			
15	☉			
16	☾	☉ 新月 快晴	☉ 田中	☉ 田中
17	火			
18	水			
19	木			
20	金			
21	土			
22	☉			
23	☾			
24	火	☉ 上弦		
25	水			
26	木			
27	金			
28	土			
29	☉			
30	☾			
31	火	☉ 朔		